

各 位

今春の需給環境を踏まえた牛乳消費拡大の取り組みについて

ホクレン農業協同組合連合会

北海道の生乳生産は、牛乳乳製品の安定供給に向けた生産基盤強化の取り組みの成果もあり、前年を上回って推移していますが、特に5月下旬～6月上旬をピークに季節的に生産量が最大となる時期でもあります。

一方、長引くコロナ禍の影響によって、業務用牛乳乳製品の需要は低調に推移しており、家庭用についても昨年までのような巣ごもり需要は見られず前年割れの販売状況が続いております。また、再び新規感染者数が増加に転じている地域もあり、今後の需要動向が非常に不透明な中、心配いただいております3月末から4月上旬の春休み期間での処理不可能乳の発生は回避することができましたが、今後、特にゴールデンウィークは学校も休校となることによって、牛乳需要の約1割を占める学校給食用牛乳の供給が休止するタイミングも重なり、飲用需要は一時的に大きく減少することが見込まれます。飲用需要の減少分は、チーズやバター、脱脂粉乳等、保存期間の長い乳製品に加工して頂くことを全国の乳製品工場にお願いしておりますが、その処理能力を超える量の生乳生産となることが懸念されております。

本会としては、各乳業メーカー・関係機関と協力して最大限の処理を図って頂けるよう調整するとともに、生産者段階では出荷抑制にも取り組んでいるところです。さらに、各乳業メーカーの協力を得ながら道内医療機関やフードバンクへ牛乳の無償提供を行っている他、道内企業から消費拡大に向けた応援のお申し出を頂いている等、関連企業・団体と連携しながら消費拡大に向けて継続的に取り組んでおります。

消費者の皆様に対しては、ここまでのご協力へのお礼と合わせて、引き続き各種キャンペーン等を通じて、牛乳やヨーグルト等の美味しさや栄養価といった魅力を改めてお伝えすることで、消費アップへの更なるご理解を頂ければと考えております。また、給食の無い休日は



お子様がカルシウム不足になるというデータ（※Jミルク HP 参照）が示されておりますので、大人も含めみなさまに是非これまでより“一杯多く”飲んで頂き、ご家族の健康維持にお役立て頂きますと幸いです。

《（一社）J-MILK HP》

生産者団体や乳業メーカーで組織される（一社）J-MILKのHPでは、春休みやGWに生乳需給が緩和する理由等についてのQ&Aが掲載されております。

- 『需給安定に向けて－2022 春』

<https://www.j-milk.jp/news/supplystable2022spring.html#hdg13>

《（一社）中央酪農会議HP》

全国の生産者団体で組織される（一社）中央酪農会議のHPでは、生乳需給の実情を伝えるべく、ミルクボーイを起用した動画広告等をアップしております。

https://www.dairy.co.jp/media/torikumi_gallery1225.html

《ミルクランド北海道としての取り組み》

- Milk Magic アレンジコンテスト

ジャニーズの人気グループ「A. B. C-Z」が牛乳を使った簡単レシピや豆知識を紹介する動画を配信しています。「#ミルクマジック」を付けて、アレンジメニューを投稿頂いた方のうち優秀作品に選ばれた方には豪華プレゼントを進呈しております（募集期間：5月15日（日）まで）。

<https://www.milkmagic.jp/campaign/>

- 春の牛乳を毎日飲もうキャンペーン

北海道内のAコープ・ホクレンショップ・Aマート（約140店舗）で対象牛乳2本をご購入頂いた方に抽選で豪華景品が当たるキャンペーンを実施中（応募期間：5月15日（日）まで）。

<https://www.milkland-hokkaido.com/hokkaidomilk-campaign/>

- ミルクランド北海道のHPや関連インスタグラムには、その他キャンペーンや料理レシピ等も数多く紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.milkland-hokkaido.com/>

【お問い合わせ先】

ホクレン農業協同組合連合会 酪農部 生乳共販課

Tel : 011-232-6190